

企業経営実態調査結果

飯田市産業経済部

1 調査概要

- (1) 調査期間 平成27年11月2日(月)～平成27年11月30日(月)
- (2) 調査の目的 企業経営状況および雇用状況等を伺い、今後の施策に反映するため。
- (3) 調査対象 製造業を中心に抽出した事業所34社に対して、担当職員が企業訪問等によるヒアリングを実施。

－業種別－		－従業員数別－	
機械系 (精密・機器・電子・光学)	22 (64.7%)	10人以下	2 (5.9%)
食品系	8 (23.5%)	11人～30人	5 (14.7%)
その他	4 (11.8%)	31人～50人	2 (5.9%)
計	34	51人～100人	13 (38.3%)
		101人～300人	6 (17.6%)
		301人以上	6 (17.6%)
		計	34

- (4) 調査事項 I 売上(受注)高の状況 II 雇用について III 工場増設等について
IV TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について V その他
- (5) 回答結果 調査項目別結果のとおり

2 調査項目別結果

I 売上（受注）高の動向【回答数 32 社】

(1) 最近（10月）の月間売上高は、昨年の同期（10月）の月間売上高と比べて、どのくらいとなっていますか？

10月の売上（受注）高の状況は、対前年比で「増加」が46.9%（15事業所）、「増減なし」が0%（該当事業所なし）、「減少」が53.1%（17事業所）となっています。

有効回答数：32事業所

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10割以上増加	1			15 (46.9%)
～ 9割 増加				
～ 8割 増加		1		
～ 7割 増加				
～ 6割 増加	1			
～ 5割 増加	1			
～ 4割 増加	1			
～ 3割 増加	1			
～ 2割 増加		2		
～ 1割 増加	1	4	2	
増加・減少なし				0 (0%)
～ 1割 減少	7	1	1	17 (53.1%)
～ 2割 減少	2			
～ 3割 減少	3			
～ 4割 減少	1			
～ 5割 減少				
～ 6割 減少	1		1	
～ 7割 減少				
～ 8割 減少				
～ 9割 減少				
～10割 減少				

※数値は事業所数、()内の数値は構成比

(2) 今後(12月)の月間売上高は、昨年の同期(12月)と比べて、どのくらいになると予想されますか？

12月の売上(受注)高の予想は、対前年比で「増加」が53.1%(17事業所)、「増減なし」が12.5%(4事業所)、「減少」が34.4%(11事業所)となっています。

有効回答数：32事業所

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10割以上増加				17 (53.1%)
～9割増加				
～8割増加				
～7割増加				
～6割増加				
～5割増加	1			
～4割増加	1			
～3割増加	3	1		
～2割増加	2	1		
～1割増加	3	3	2	
増加・減なし		3	1	4 (12.5%)
～1割減少	3			11 (34.4%)
～2割減少	2			
～3割減少	2			
～4割減少	1		1	
～5割減少	1			
～6割減少	1			
～7割減少				
～8割減少				
～9割減少				
～10割減少				

※数値は事業所数、()内の数値は構成比

(3) 今年(平成27年1月～平成27年12月)の年間売上高は、昨年と比べてどのくらいになると予想されますか？(11、12月は予想にて記入ください)

平成27年年間の売上(受注)高の予想は、対前年比で「増加」が67.8%(21事業所)、「増減なし」が3.2%(1事業所)、「減少」が29.0%(9事業所)となっています。

有効回答数：31事業所

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10割以上増加				21 (67.8%)
～9割増加				
～8割増加				
～7割増加	1			
～6割増加				
～5割増加				
～4割増加				
～3割増加	2			
～2割増加	1	1		
～1割増加	9	5	2	
増加・減なし			1	1 (3.2%)
～1割減少	4	2		9 (29.0%)
～2割減少	1			
～3割減少	1		1	
～4割減少				
～5割減少				
～6割減少				
～7割減少				
～8割減少				
～9割減少				
～10割減少				

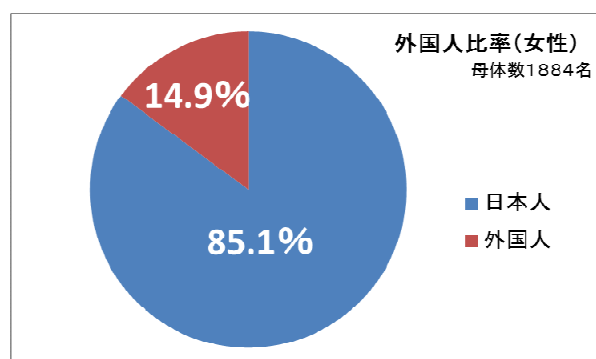
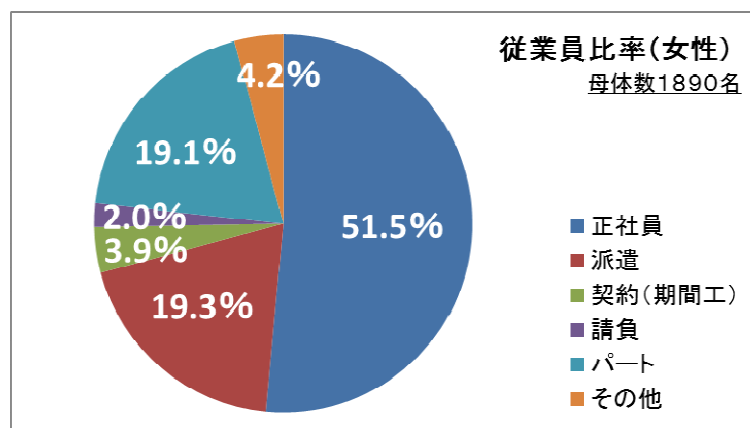
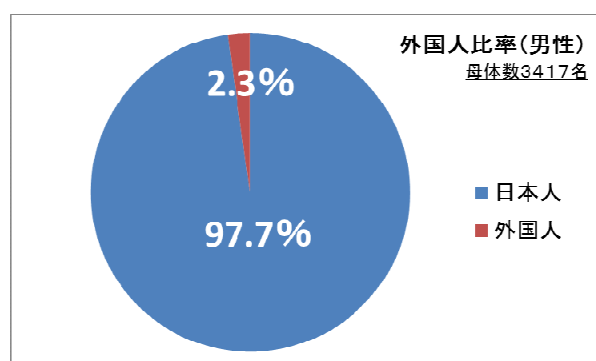
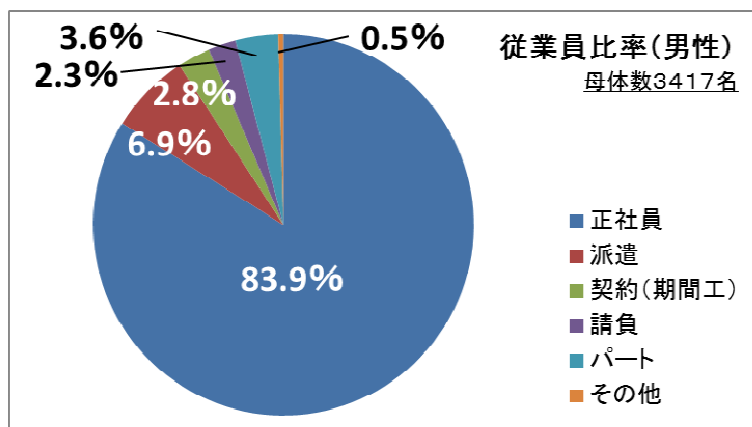
※数値は事業所数、()内の数値は構成比

Ⅱ 雇用について

(1) 最近の人員の状況についてお答え下さい。(11月1日現在)

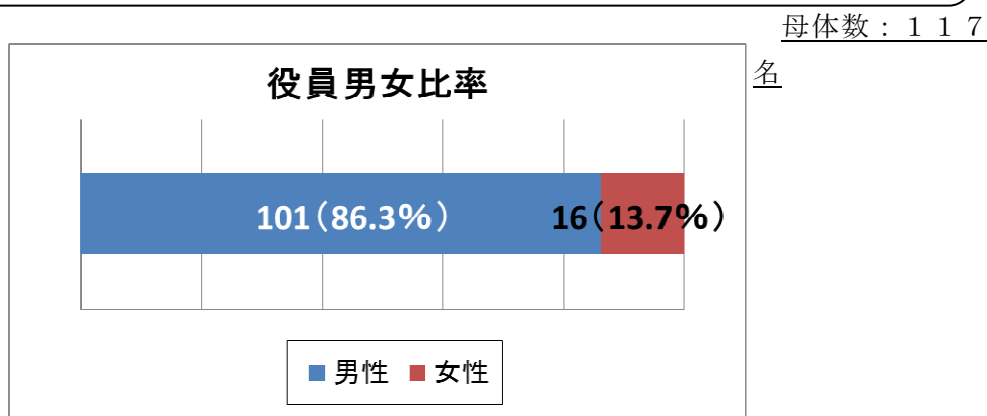
従業員の構成比率は、男性では、「正社員」が最も多く 83.9% (2,868 名)、続いて「派遣」6.9% (235 名)、「パート」3.6% (124 名)、「契約(期間工)」2.8% (95 名)、「請負」2.3% (80 名) となり、また、外国人比率は 2.3% (78 名) となっています。

女性では、「正社員」が最も多く 51.5% (973 名)、続いて「派遣」19.3% (365 名)、「パート」19.1% (361 名)、「契約(期間工)」3.9% (74 名)、「請負」2.0% (38 名) となり、また、外国人比率は 14.9% (280 名) となっています。



(2) 男女役員についてお答え下さい。

役員の男女比率については、「男性役員」が 86.3% (101 名)、「女性役員」13.7% (16 名) となっています。



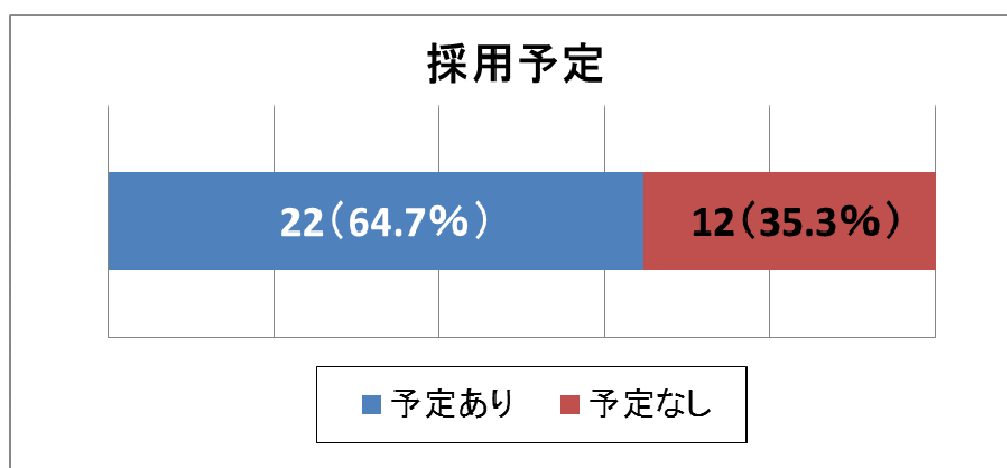
(3) 採用予定について

①平成28年4月の採用予定者数は、何人ですか。(採用内定者の状況もお答えください)

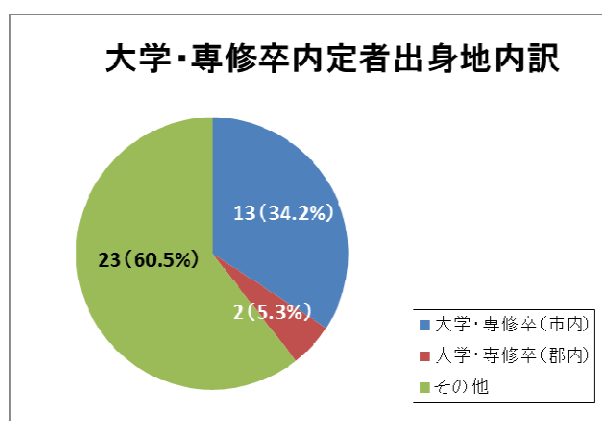
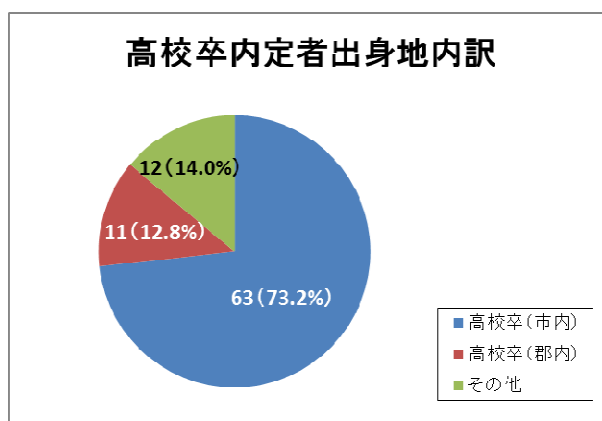
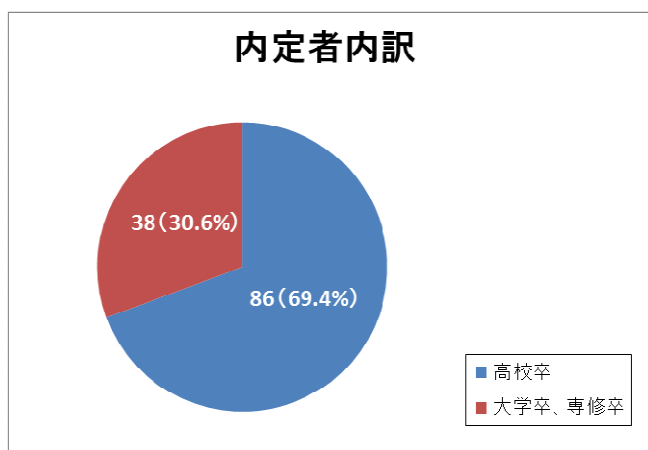
平成28年4月の新規採用については、64.7% (22事業所) が「採用予定」、35.3% (12事業所) が「採用予定なし」となっています。

内定者については、「高校生」が69.3% (86名)、「大学・高専卒」が30.6% (38名)であり、高校卒業者の内、「市内出身者」が73.3% (63名)、「下伊那郡出身者」が12.8% (11名)、「その他」14.0% (12名)、大学・専修卒業者の内「市内出身者」が34.2% (13名)、「下伊那郡出身者」が5.3% (2名)、「その他」60.5% (23名)となっています。

有効回答数：34事業所



母体数 (内定者) : 124名

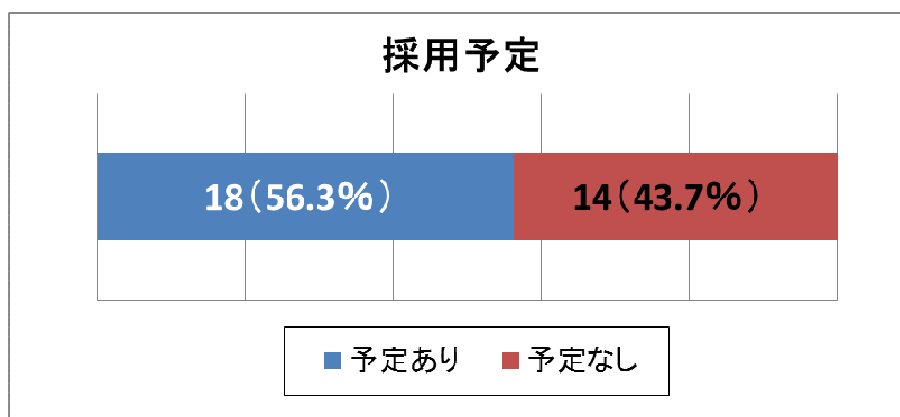


②今後に中途採用者の予定はありますか。

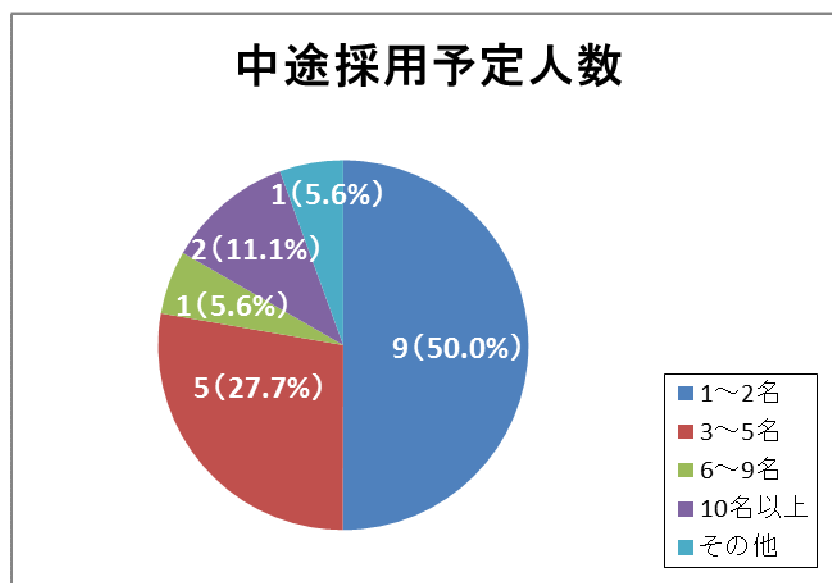
中途採用については、「予定あり」が56.3%（18事業所）、「予定なし」が43.7%（14事業所）となっています。

採用予定人数については、「1～2名」が50.0%（9事業所）、「3～5名」が27.7%（5事業所）、「6～9名」が5.6%（1事業所）、「10名以上」11.1%（2事業所）となっています。

有効回答数：32事業所



有効回答数：18事業所



③次年度の人材の確保状況はどうでしたか。また、可能であればその原因もお聞かせください。

- ・募集をかけたが、応募が少なかった（無かった）。
- ・技術系大学生の採用を検討していたが、応募が無かった。
- ・中途採用についても採用は厳しく、条件面などで対応が難しい人材が多かった。
- ・内定辞退者が多かった。
- ・早期の採用活動で大きな成果が得られた。
- ・採用予定数以上の応募があり、採用できるうちに採用をとの考えで、募集以上の人数を採用した。

④採用にあたり、求める人材は、どのような方ですか。

- ・技術系大学、専修卒業生
- ・会社のまとめ役となれる人材、広い心で所帯を有しており、気が利く人間
- ・高校生を（技術者、生産職として）採用していきたい。
- ・真面目で特殊技能を有した中堅技能者
- ・素直な性格で意欲にあふれた人材
- ・体力のある人材
- ・意欲、向上心を持って取り組む人、素直さ、協調性のある人

⑤人材確保のために特別に行っている取り組みはありますか。

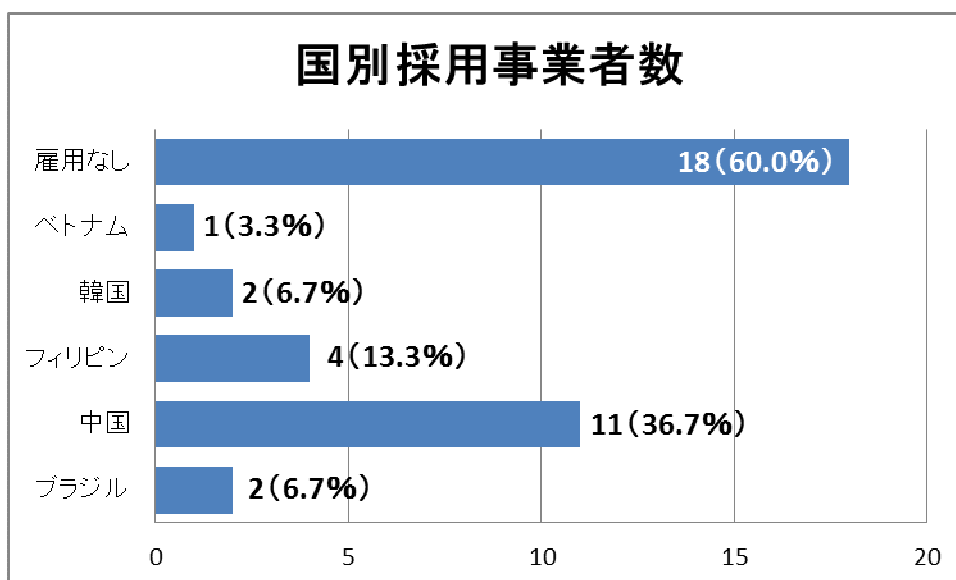
- ・OB、OG 訪問、従業員の知人への声掛け
- ・インターンシップの受け入れ、高校（就職担当者、担任）訪問、合同企業説明会への参加
- ・大学訪問、共同研究
- ・ハローワークの有効活用
- ・インターネットによる公募

(4) 外国人就労者について

①外国人就労者の国籍はどこですか？（複数回答）

外国人就労者の国籍については、「中国」36.7%（11事業所）が最も多く、続いて「フィリピン」13.3%（4事業所）、「ブラジル」、「韓国」6.7%（2事業所）、「ベトナム」3.3%（1事業所）となっています。60.0%の事業所が外国人就労者を雇っていない状況となっています。

有効回答数：30事業所



②外国人就労者の職種はどのようなものですか？

- ・現場作業者
- ・研修生
- ・広報、営業
- ・品質保証

③外国人就労者の雇用状況について、昨年と比べて変化等がありますか？

- ・変化なし（同様の人数を継続任用している。）
- ・夏以降、外国人派遣社員を採用しやすくなった。
- ・賃金などで採用する国籍に変化が出てきた。具体的には中国人から東南アジア人へ変更した。

④外国人就労者を雇う上での問題点がありますか？

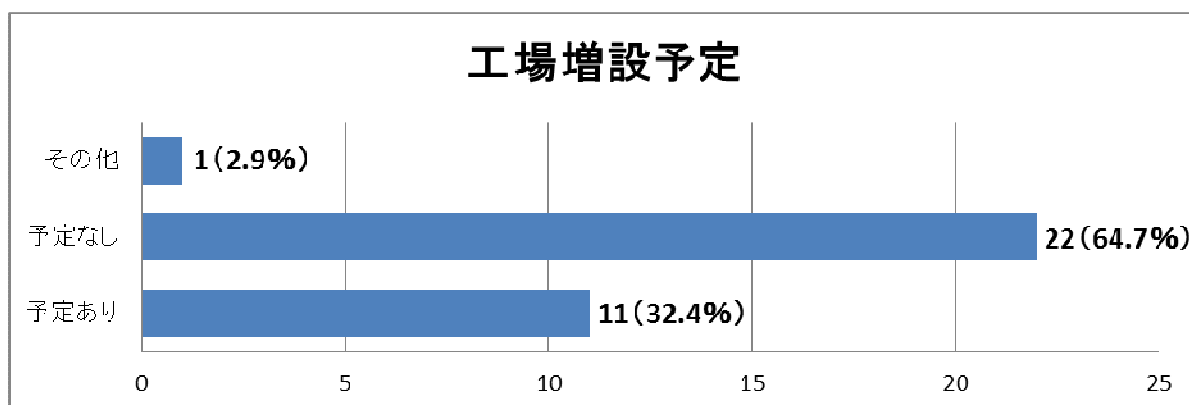
- ・国籍に関わらず優秀な人材を採用しているため、問題は無い。
- ・コミュニケーションが取れない人材は難しい。
- ・文化の違い（仕事に取り組む姿勢や、暦の違いなど）

Ⅲ 工場増設等について

(1) 今後、工場増設の予定について

工場増設については、「予定がある」が 32.4% (11 事業所)、「予定していない」が 64.7% (22 事業所)、「その他」が 2.9% (1 事業所) となっています。

有効回答数：34 事業所



【増設内容】

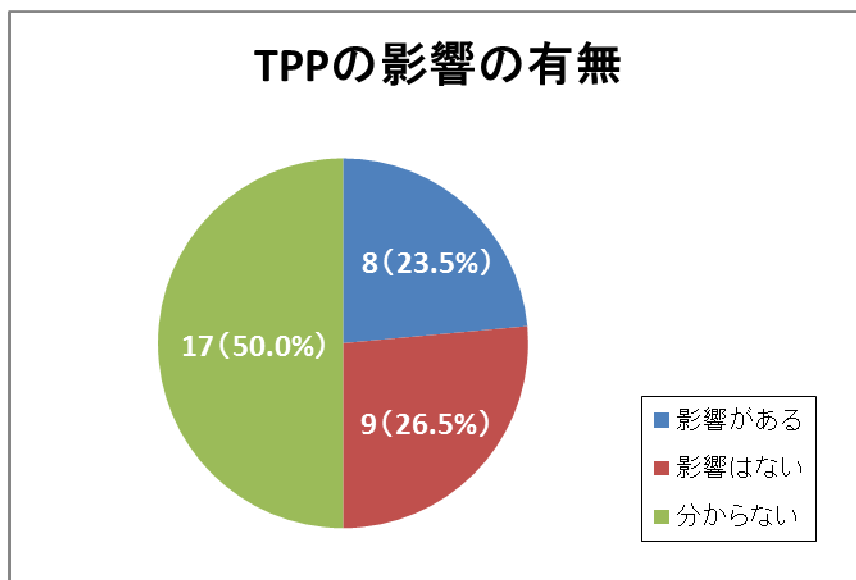
- ・業務集積のための事業所統合。
- ・新事業の拡大実施のための増床（設備投資に伴う設置場所増設。）
- ・倉庫の新築
- ・老朽化施設の改修

IV TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について

(1) TPP 交渉合意に伴い貴社への影響はありますか。

TPP についてですが、「影響がある」と回答した事業所が 23.5%（8 事業所）、「影響はない」と回答した事業所が 26.5%（9 事業所）、「分からない」と回答した事業所が 50.0%（17 事業所）となっています。

有効回答数：34 事業所



【影響内容】

- ・現状は不明であるが、海外輸出品の後押しとなる。
- ・良い影響があるかもしれないが、円安のほう地域に与える悪影響が大きい。
- ・価格競争、商品表示など注視が必要となると予想される。
- ・原材料の価格低下、国産原料の供給への影響。海外製品の増加、価格の下落。
- ・最終的に地域農家の衰退につながると考えられ、調達などの面で長期的に大きな影響が出る可能性がある。

IV その他

市への要望等がありましたら、お聞かせください。

- 工業団地周辺整備をお願いしたい。(街路灯の設置、道路の補修・拡張、交通網の再整備、カーブミラーの設置、公共交通機関の整備等)
- 工場までのアクセス道路の整備をお願いしたい。(中心地、ICからのアクセス道路、座光寺インターの早期設置と周辺の整備)
- 企業人材確保住宅の入居期間の長期化若しくは簡易な延伸手続化をお願いしたい。
- 若年層が生き生きと生活できる環境整備(生活・仕事など複合的なフォロー)をして欲しい。
- 各種情報提供をお願いしたい。(助成金、リニア関連、企業情報の正確伝達への協力など)
- 地域内企業のコラボレーションに関する取り組みを実施して欲しい。
- 観光業が稼ぐことができるプランが沢山必要であると考えます。
- 域内消費の充実化に向けた具体的な取り組み。
- リニア開通で移転が必要となる企業への働きかけ。